



市政と皆様を結ぶ情報誌

神谷まさひろ 活動報告

コロンブスレポート

vol.61

2017.1

発行:神谷まさひろ後援会事務所
〒448-0028刈谷市桜町3-45
TEL 0566-23-0344
FAX 0566-23-1399

事務長/都築浩介 編集長/榊原直木

2016年を振り返ると、僕はリオ五輪閉会式での、2020年東京五輪のプレゼンテーションが強く心に残っています。日本を代表するアスリートとアニメ・ゲームキャラクターたちが次々と画面を駆け巡り、最後までワクワクさせてくれたこのパフォーマンスは、世界中で大きな反響を呼びました。この動画は日本の魅力の再確認させてくれ、また未来への期待を持たせてくれたのではないかと思います。今年はそんなワクワクすることが続くような一年になったらいいなと思います。

編集長 榊原直木

刈谷市議会

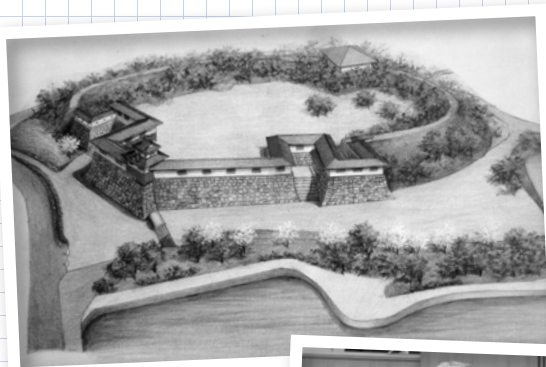
12月定例会

刈谷市議会12月定例会は11月30日(水)～12月19日(月)まで20日間の会期で開催されました。今回のコロンブスレポートでは、私の質問だけでなく、他の議員の一般質問や委員会での報告事項、議案や補正予算案などについて数点ご紹介いたします。

本会議

本会議冒頭には竹中市長による議案の大綱説明が行われその中で「刈谷城復元の実施設計の発注を延期する」との発言がありました。

正確を期すために発言内容をそのまま掲載しますと…



本年度予定しておりました亀城公園再整備事業の刈谷城復元に関する実施設計につきましては、甚大な被害を受けた熊本城の復旧の動向を注視し、発注時期を見計らってまいりたい旨申し上げてまいりました。

そうした中、さる10月6日に熊本市から熊本城復旧の基本的な考え方として、耐震化などの安全対策に向けて最新技術も取り入れた復旧手法の検討を行うことや、未来の復元整備へ繋がる復旧を目指すことなどが示され、今後はこの考え方に基づき復旧計画が策定されるものと思われます。

そこで、刈谷城の復元につきましては、今後、熊本城復旧の過程で整理される安全対策を参考に進めていくこととし、熊本城の復旧基本計画が示されるまでの間、実施設計の発注を見合わせていただきたいと考えておりますので、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

とのことですが。遅れることは残念ですが、「熊本城の復旧手法を参考にすることが出来るのだ」とプラスに捉えています。



一般質問

1.介護保険施設の現状と今後について

現在、刈谷市内にある特別養護老人ホームと介護老人保健施設の数と定員は…

特別養護老人ホームは3か所あり 定員は合計360人
介護老人保健施設は2か所あり 定員は合計246人

平成28年9月における市外の施設を含めた刈谷市民の利用者数は…

特別養護老人ホームは381人
介護老人保健施設は339人

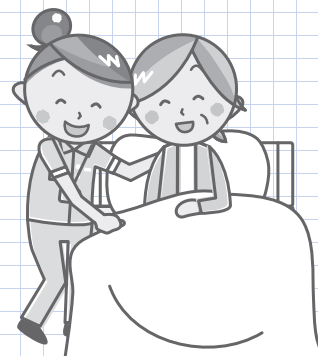
特別養護老人ホームと介護老人保健施設の今後の整備予定は…

特別養護老人ホームは、平成29年度に定員20名の施設が1か所と平成30年度に定員120人の施設が1か所開所する予定

介護老人保健施設につきましては、今のところ新たな開所の予定はありません

「施設の定員と刈谷市民の入所者数がイコールでないのはなぜか?」と不思議に思われるかもしれませんが、これは刈谷市の施設に市外の方が入っておられ、逆に刈谷市民も市外の施設に入っておられる方がいるからです。

特別養護老人ホームと介護老人保健施設は、刈谷市内に不足しているため、市外の施設を利用しているといったことが読み取れますね。改善は平成30年4月から始まる第7期の計画に期待しましょう!



2.認可保育園の過去3年間の申し込み者数と入園者数、待機児童数について

待機児童が全国的に問題になっていますが、刈谷市における保育園の入園状況は次の通りです。

	申し込み者数	入園者数	待機児童数
平成26年度	549人	426人	6人
平成27年度	703人	428人	8人
平成28年度	602人	434人	9人

「申し込み者数－入園者数＝待機児童数」と思いがちですが、申し込みをされた方の中で、「認可外保育所に入られた方」「企業内保育所に入られた方」「育児休暇を延長された方」などは、待機児童としてカウントしないのでこのような結果になっているのです。刈谷市では来年度、築地町に新たに定員90名の[空のうさぎ保育園]を整備したり、富士松北保育園を建て替えて定員を20名増員するなど、待機児童解消に向けた取り組みを着実に実施しています。



[空のうさぎ保育園]

3.平成30年4月に開校予定の特別支援学校について

現在、平成30年4月の開校を目指して、小垣江東小学校の敷地内に特別支援学校が建設されています。開校後の運営方法について質問がありました。

Q1 障害児をスクールバスで送迎をしないと判断した理由は？

A1 本市の特別支援学校は、子どもたちの通学にかかる負担軽減を第一の目的として設置するものであることから、保護者の方が自宅と直接送迎をすることにより、送迎バスに乗り換える負担の軽減や、通学時間の短縮が図れると判断したためです。車で送迎をする保護者への配慮については、乗降のために玄関前に停車するためのスペースをできる限り広く確保するとともに、雨の日には濡れないよう、大型の屋根を設置する予定です。また、保護者の生活状況に柔軟に対応できるよう、既設の特別支援学校よりも早い時間から受け入れができるよう、検討をしているところです。

Q2 学校生活において保護者の付添いは必要か？

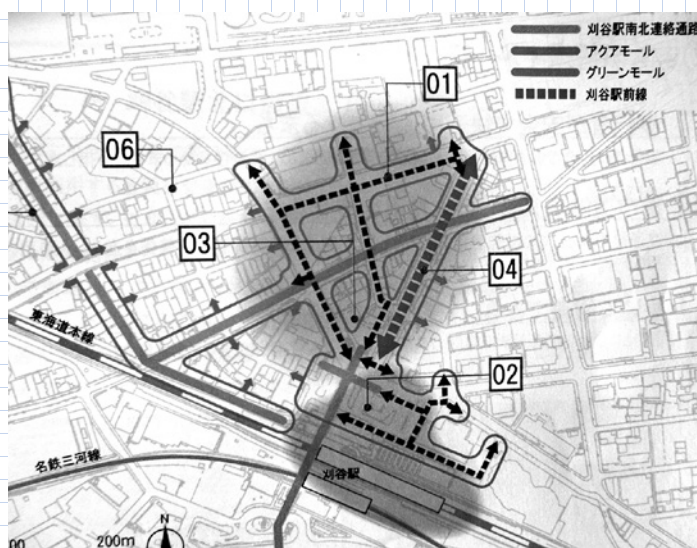
A2 医療ケアが必要な児童生徒の受け入れについて、可能な限り保護者が付き添いをする事なく学校生活を送れるようにするため、必要に応じて、看護師、介護員の確保等、適切な措置を図ってまいりたいと考えています。

企画総務委員会

所管事務調査の中で当局から「刈谷市まちなかマネジメント構想(刈谷駅北口周辺エリア編)」についての報告がありました。これは本市の玄関口である刈谷駅北口周辺における10年から20年先の将来像としての空間・景観デザインの骨格や、行政・住民・企業・商業者などの様々な主体の参画、連携などによる今後のまちづくりの方向性を示すことにより、まちなかの魅力を更に磨き上げ、人の交流やにぎわいの創出を推進することを目的に策定されたものです。

この企画総務委員会の後に、地元で刈谷駅周辺のまちづくりを話し合うワークショップがありましたので、早速その場でこの構想に参加者に報告しました。するとある方が「私たちが目指している方向と、この構想はピッタリ合っているので心強い」と言われましたが、「当たり前です! この構想は行政の側が一方的に策定したのではなく、私たちのこうしたワークショップでの意見や私たちの作成した2020構想などをたたき台として作られたものですから、市民の声が反映された構想なのですよ」と説明させて頂きました。

そしてこの「構想案」の中をよく見ると「将来イメージ」として、刈谷駅南北連絡通路の延伸が描かれていました。歩行者導線の確保のために、2階デッキを刈谷駅から ①私の事務所前まで ②サンエイ本社ビルの東側まで ③アイシン開発本社ビルまで ④県道知立東浦線の上に 伸ばして行く構想です。これもワークショップで出されていた意見なのですが、これほどまでに壮大な計画がきちんと盛り込まれていることに驚きました。



この「構想案」、今回は刈谷駅北口周辺エリアを対象としたものですが、次は「刈谷市駅～亀城公園」のエリアでも策定を予定しています。

福祉産業委員会

この委員会は私が所属している委員会です。所管事務調査の中で2項目質問をしましたので、そのやり取りを紹介します…



1. 強度行動障害者生活介護支援について

Q1 強度行動障害者が生活介護を利用する際に、実施事業所に対して報酬を加算する考えはないか？

A1 現在、強度行動障害児が施設への短期入所を利用した場合には、国の報酬に加えて市独自の加算を行うことで、事業所の受け入れ負担を軽減しているが、今後は強度行動障害者の生活介護や施設入所についても加算事業の実施を検討している。

2. 地域密着型特別養護老人ホームについて

Q1 第6期介護保険事業計画では、定員29人の地域密着型特別養護老人ホームを中部地区に整備することになっているが、整備の進み具合はどうか？

A1 地域密着型特別養護老人ホームの整備につきましては、昨年度と今年度で合計3回、応募要件を変えて公募を実施しましたが、応募事業者がありませんでした。

Q2 なぜ応募事業者がなかったのか？
また、応募がなかったことに対する対応策は？

A2 事業者からは、定員29人と小規模であるため、採算面が厳しかった、また、整備に必要な広さの場所を確保することが特に市街化区域においては難しかったと伺っています。対応策としましては、平成30年度に開所予定の特別養護老人ホームを公募するにあたって定員を100人から120人に増やしたこと及び既存の事業者のショートステイ20床を特別養護老人ホームに転換することで、対応してまいります。なお、平成28年8月1日現在の特別養護老人ホームの入所待機者数は60人であったことから、今後の施設整備により待機者は解消するものと考えております。

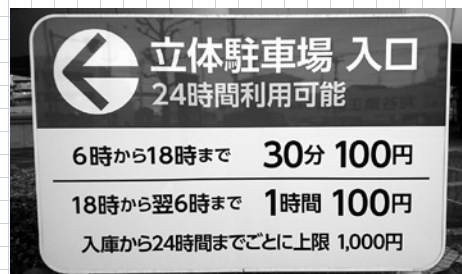
Q3 人数的には満たされたがそれで良いというものではない。「地域密着型」である意義があったはずだ。高齢者が通えるような街中に、市民だけが入所できる地域密着型特別養護老人ホームを整備しても良いのでは。市が土地を貸したり、建設補助金を出すといった手法も可能だと思うが、どうか？

A3 地域密着型特別養護老人ホームの整備につきましては、今後のニーズを見ながら、整備計画における位置付けについて検討してまいりたいと考えております。なお、整備が円滑に行われるような方策についても考慮してまいりたいと考えております。

建設委員会

1. 相生駐車場の夜間割引の成果について

刈谷駅周辺の違法駐車対策の一つとして、平成27年4月から相生駐車場の夜間利用に対して駐車料金の値下げを行っていました。通常30分100円のところを18時から翌6時の時間帯は60分100円と半額にしたのです。その結果、その時間帯での利用者は前年度に比べて年間で約9000台、収入金額にして110万円増加したとのことでした。



この制度は、地元で行っている『交通まちづくりワークショップ』での皆様からの意見を参考に、平成26年の9月議会の委員会で「相生駐車場の夜間割引」を提案したところ、竹中市長さんが直ぐに対応して下さいまして実現したものですから、提案した立場としては「結果が出なかったら申し訳なかったけれど、利用車両が増え結果を出すことが出来て良かった」と正直安堵しています。

この割引の本来の目的は「刈谷駅周辺の違法駐車を減らす」と言うことですから、「違法駐車車両がどれだけ減ったか」を調査することが本来の形だと思いますが、相生駐車場の利用車両が増えたことは、違法車両の削減に何らかの成果があったのではないかと想像しています。

2. 刈谷駅北地区整備における事業計画が示されました



事業計画の概要

(1) 建築計画

- ・ 事業主体: アイシン開発株式会社 (デベロッパー)
※ 建築工事業者 (ゼネコン) は別途入札等により決定
- ・ 敷地面積: 2,804㎡ (内市有地 1,573㎡)
- ・ 総事業費: 約36億円
- ・ 延べ床面積: 約15,000㎡
- ・ 階数: 地上20階 (70.5m)
- ・ 主な用途
 - 1、2階 商業、公共施設
 - 3～5階 事務所
 - 6～20階 住居 (86戸)
 - 別棟 立体駐車場

(2) 公共施設計画

- ・ 観光案内所
観光資源の発信拠点
電気自動車及びレンタサイクル置場
- ・ 交流スペース (通路、階段等含む)
各種イベント等のための広場
刈谷駅南北連絡通路に接続した通路

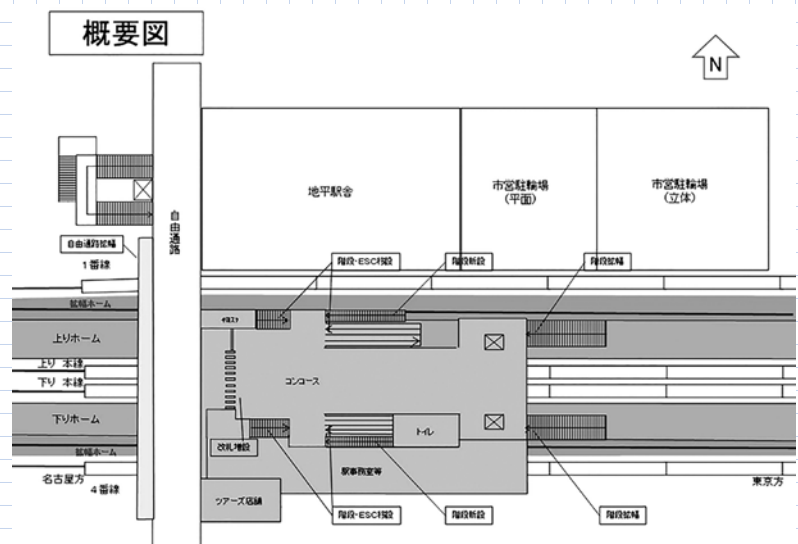
この事業は優良建築物等整備事業として行われるため、階段やエレベーターといった共用スペースには国・県・刈谷市から補助金が支給されます。今のところの計画では総事業費約36億円のうち補助対象部分は約8億円。この8億円の3分の1が国から、6分の1が愛知県から補助がされ、刈谷市も6分の1を補助します。

今後の予定としては…

平成29年4月～	設計
平成30年1月～	既設建築物等除去
平成30年5月	工事着手
平成32年9月	工事完了

3.JR刈谷駅のホーム拡幅など安全対策が実施されます

朝晩のラッシュ時間帯を中心に、大変混雑して危険な状態にあるJRのホームに安全対策を実施します。右の概要図の通り、上りの普通電車が止まる1番線を北側に、下りの普通電車が止まる4番線を南側に(名鉄側に近づけると言うことです)移動して、それぞれのホームを拡幅するのです。つまり、快速の停車する2・3番線は移動しないのです。その他、2階の自由通路(コンコース)も一部西側に拡幅し、エスカレータ移設・階段新設・既設階段の拡幅なども行います。



今回は検討・設計の補正予算として3年間で総額9000万円が計上されていました。つまり、30年度までは設計を行い、工事に掛かるのは早くても平成31年度からということになります。逢妻駅へのエレベーター設置工事などもそうですが、駅に拘わる工事は本当に時間が掛かりますね(汗)

刈谷駅にもホームドア 東海道線に設置へ

各地で相次ぐ視覚障害者によるホーム転落事故を巡り、JR東海は1日、2018年から金山駅（名古屋市中区）の東海道線ホームで、ホームドア

その後、新聞に「刈谷駅にも ホームドアを設置」との記事が載っていました。ホームドアの設置については平成27年12月に我が会派の蜂須賀議員が、今回の12月議会では鈴木議員が要望していただけに嬉しいニュースです。

市民文教委員会

1.給食費が来年度から引き上げとなります

幼稚園	200円→220円	
小学校	220円→250円	
中学校	250円→280円	(いずれも1食当たり)



学校給食法第11条において…

給食の実施に必要な施設・設備、人件費などの経費→刈谷市の負担
それ以外の経費(主に食材費)→保護者の負担

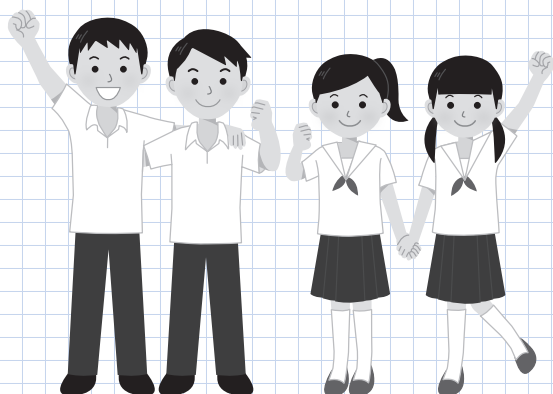


と定められています。そうした中、刈谷市では平成12年度に現在の価格に改定して以来、16年間据え置いて保護者の負担を増やさないように努めて来ましたが、物価の上昇や食品の値上がり、消費税の改定により食材費に要する経費が増大して来たことが引き上げの理由です。

2.中学校の普通教室全てにエアコンを設置する予算が計上されました

総額で6億1200万円。平成29年の夏休みを使って設置の予定です。ランニングコストとしては、気温などの環境条件や使用日数によって増減しますが、ガス・電気・設備保守費用を合わせて1校あたり1年間に平均約200万円になると想定しています。

「エアコンは体力低下・風邪を引きやすくなる・クーラー病など子どもにとっては良くないのでは…」といった指摘もありますが、その点を考慮して刈谷市では全小中学校統一のエアコン運用マニュアルを作成しました。この中には、設定温度を夏季は28度以下、冬季は18度以上にならないようにしたり、風が連続して当たらないよう席の配置を工夫することなどが定められており、エアコンの導入により子ども達の体調等に悪影響を引き起こすことがないようにする配慮がされています。



尚、小学校普通教室への設置は平成30年の夏休みを予定しています。

3.平成29年2月1日よりコンビニの端末機で各種証明書が 発行できます



交付する証明書は…

- ①住民票の写し(手数料200円)
- ②印鑑登録証明書(手数料200円)
- ③戸籍謄・抄本(手数料450円)
- ④戸籍の附票の写し(手数料200円)
- ⑤住民票記載事項証明書(手数料200円)

12月定例会には、②印鑑登録証明書をコンビニで交付出来るようにするために条例の改正案が上程されていまして、「あれっ、他の証明書を交付するのに条例は改正しなくていいの?」と疑問に思ったのですが、他の証明書は国の法令等で既に対応済みとのことでした。

愛知県内におけるコンビニ交付の他市での状況は、今年の10月末までに10市が既に実施しており、近隣の西三河9市では、みよし市・豊田市・岡崎市の順に開始しており、来年1月には安城市が、そして刈谷市と同じ2月からは西尾市も開始の予定です。

4.歴史博物館建設について工事請負契約が締結されました

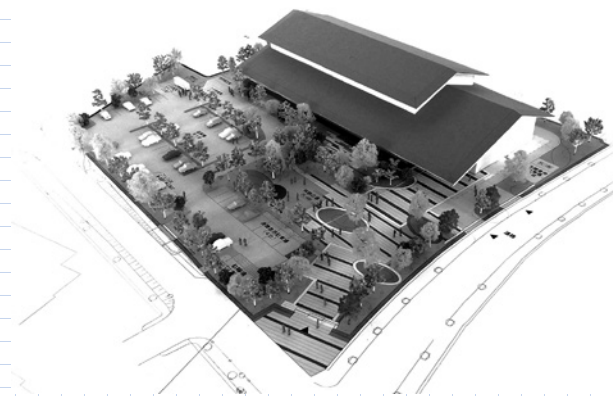
建築工事＝鴻池・角文特定建設工事共同企業体

電気工事＝(株)松島電気工事

管工事＝辻村工業(株)

3つの工事総額で約29億6100万円です。

この歴史博物館は逢妻町にある体育館の北側約11816㎡の敷地に建設されるもので、鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積4103㎡の施設です。



この施設の特徴の一つに「公開承認施設である」ということがあります。この「公開承認施設」と言うのは平成8年に文化庁が創設した制度で、重要文化財等の公開に相応しい施設であることを文化庁長官が認定するものです。

この施設に認定されると、国宝や重要文化財・登録有形文化財の公開手続きが簡素化されるので、価値ある文化財の観賞機会が増えて素晴らしいことなのです。一方で、この承認を取得するまでには開館後5年間の検査期間が必要な上、今でも頻繁に文化庁にアドバイスを求めるなど、取得に向けた職員の苦労も相当なものなのです。

刈谷の次世代を担う子ども達に「本物」を身近に感じてもらうこと…大切なことだと思います。

ホームページの 日記から

「東陽町 ホンネの日記」

神谷まさひろはホームページの中で「日記」をほぼ毎日掲載しています。このコロンブスレポートではその中から、活動の一端として3つほど紹介します…

Days 11月13日(日)

刈谷市総合防災訓練に参加

平成28年度刈谷市総合防災訓練が行われました。

以前は刈谷市総合運動公園で行われていたのですが、一昨年初めてセントラルパーク（大手公園）を使って実施をし、今年は双葉グラウンドを使っての実施ということで、これで隔年ごとに行っている現場での防災訓練は北・中・南部バランスよく実施することになります。

消防・警察・自衛隊などのほか市内の自主防災会や中部電力など関係企業、赤十字奉仕団などの各種団体が参加して、各種体験コーナーにて大規模地震が発生した場合にすべきことを実際に体験してもらいました。また、今年は初めてドローンのデモンストレーションも行われました。第2会場となった双葉小学校では避難所の立ち上げ・運営訓練を実際に体験して、運営上の問題点や課題を発見して、今後の活動や避難所運営について考える訓練を行いました。

実際にこうした災害が発生しないことを願っていますが、万が一発生した時には今日の訓練が役立つことを期待しています。「備えあれば憂いなし」です。否、「備えていても憂いているくらいが丁度よい」とも言われました。



Days 11月20日(日)

3地区合同防災訓練に参加



かりがね小学校において築地・小山・一ツ木の3地区合同防災訓練が行われました。

約700人の避難者を対象に、家具転倒防止などをテーマとした防災講演会に続き、AED体験や仮設トイレ説明、毛布による担架作り体験、家庭用消火器体験などのほか、学校内には授乳室や感染者室なども設けられ、かりがね小学校全体を実際の避難所と想定した受け入れ訓練が行われました。



また、地区によっては一旦、一次避難所に集合して全員で避難経路を確認しながらかりがね小学校に向うなど、単なる訓練参加ではなく、会場に向うまでの姿勢も訓練になっている本格的な取り組みです。

そして今回も3地区の消防団も参加していましたが、その中の一ツ木地区(13分団)には今年から女性団員が2名誕生しました。これで刈谷市内全体で3名の女性団員となり、写真はそのひとり二十歳の加藤さんです。大学に通う途中の駅で団員募集のチラシを見て、自主的に市役所に出向き入団手続きをされました。来年の消防操法大会にも出場予定とのこと。心強い限りです！

Days 12月4日(日)

クリスマス会でサンタクロースに

桜区地域ボランティア『チェリー』のクリスマス会に出席しました。

今日は桜区に住む独居老人のほかに、神明町にある認知症グループホーム「長寿の郷」利用者の方もお見えになり、これまでに行われたクリスマス会の中で最も参加者が多いクリスマス会となりました。そして、チェリーコーラスによるクリスマスソングの合唱に始まり、ドラッカーズの皆様によるハンドベル演奏、南中学ボランティア部によるマジックショーとアトラクションも充実です。

その後、私と面高地区長がサンタに扮して皆さんにプレゼントを贈呈し、全員で会食をし、最後にチェリーのモットーと歌を斉唱してお開きとなりました。



「子どもの頃、サンタクロースからのプレゼントは本当に嬉しかったです。大人になってプレゼントを贈る立場になり、今度はプレゼントに喜んでいる子ども達の姿を見るのが本当に嬉しく思いました。プレゼントは贈られる側も、貰う側も嬉しいものです。

ボランティアも同じだと思います。ボランティアをして貰って嬉しい、ボランティアをさせて貰って嬉しい。そして共に心が温かくなります。地域ボランティアチェリーの活動によって、全ての人が嬉しく温かい気持ちに包まれることを祈念しています。」来賓としてこのような挨拶をさせて頂きました。

Days 12月21日(水)

至学館大学での「地方議員との公開討論会」に パネリストとして参加

4年生を対象とした主権者教育の授業として行われた「地方議員との公開討論会」にパネリストの一人として参加しました。コーディネーターは元犬山市長・元衆議院議員の石田芳弘氏、パネリストは愛知県議会議員の原欣伸議員・大府市議会議員の大西勝彦議員、そして私の3名です。この話を聞いた時に「至学館と言えば、レスリングの吉田沙織さんが新たに副学長に就任された大学だから、もしかしたら会えるかも」などとミーハーなことを考えていたのですが、学生の授業に臨む真剣な態度を見たら浮ついた考えは直ぐに吹き飛んでしまいました。

学生数約300名を前に若干緊張しましたが、私が議員を志した動機や、取り組んでいる政治課題、人生観や若者に期待することなど気持ち良くそして情熱を込めて語ることが出来ました。

- 
- どんなに偉い人であろうと、
「主権者」という立場では皆さん方とは対等なのだ
 - 0は何を掛けても0だが、1は掛ける数によって無限大
→0は「無力」、1は「微力」
→「微力」の集まりが「民主主義」
→従って「民主主義」とは「微力主義」と言える
 - 主権者とは選挙権があるかないかではない。
自分の将来と社会の将来を重ね合わせることが出来る人が主権者なのだ

谷岡学長のことば

若者にとって「選挙」は遠い存在かもしれませんが、しかし、日本もそうですが世界中を見ると、選挙権を得るために多くの人々が命がけで戦った歴史があるのです。「無駄にするな」と声を大にして言いたいと思います。

ホームページアドレス
Eメールアドレス

<http://www.kamiya.gr.jp>
masahiro@kamiya.gr.jp

この用紙は再生紙を使用しています。